

— 夢・感動・未来を創造する —

福井市足羽第一中学校 第1学年 学年だより

第 74 号

令和7年12月9日(火)

# 陽はまた昇る



## 課題を解決する力

今、社会科で学習しているのは「アフリカに支援は必要か？」。アフリカの現状を知り、アフリカへの支援は必要なのかどうか、必要だとすればどんな支援が必要かをみんなで考えています。もちろん、支援は必要ないと主張している生徒もいます。

「食料が不足しているから、食料支援が必要だ」「スラムなど生活環境が悪い状態にあるから、インフラ整備などしてあげる」「井戸を掘ってあげよう」などの意見も出てきました。さて、食料を送ったら…その食料は現地の人に消費され、しばらくすれば空腹になり「もっとちょうだい！」と言われ、また食料を送る。そしてまた「もっとちょうだい！」と言われ、また食料を送る。このループに入れば、いつまでも誰かの力を頼りにしないといけないし、支援する側にも限界があります。持続可能性はゼロ。

皆さんは、すさまじい進化を遂げ未来予測が困難な時代を生きています。これから先、どんな課題が目の前にやってくるのかも予測不可能です。それでも、その課題は何とかして解決しなければなりません。近い将来にやってくる課題を解決する力を、今、身につけてもらいたいのです。授業では様々な問題を解きます。その問題はすでに明らかなる答えがあるものです。その時、この問題の正しい答えを1つ1つ聞いているだけではないように思うのです。問題の答えを聞く。「次も答えを教えて！」とまた新たな問題の答えを聞く。また「次の答えも教えて！」…。このループでは今まで経っても…。

アフリカの学習中「技術を教えればいい」と力強く語る生徒がいました。農業の技術、工業の技術、井戸を掘る技術を伝えれば、近い将来、現地の人の力で自分たちの地域をより良くできると。自分たちの課題を自分たちで解決できると。すごい意見！

みんなはどんな学びをすれば、近い将来で出会う未知の課題を解決できるかな？みんなの学びが、明るい未来の創造につながりますように。

(第1学年主任)



何が必要か考える

私は医療関係者だが

薬だけでは人々の健康は守れない。

中村 哲／医師



## みんなの良いところ

異学年と共同（縦割り）で清掃していますが、感染症対策で一時的に清掃場所が変わりました。先生が担当する場所に来た1年生の生徒たち、とっても一生懸命掃除をしています。一生懸命だけでなく、掃除がとっても上手。拭き残しの無いように隅々まで拭いたり、自分でキレイになる方法を考えたり、トイレでこれまでの担当生徒がキレイにできていなかつたところをブラシで磨いたり水を流したり。掃除の時間も、みんなのいいところがたくさん見られて、掃除の時間も何だか嬉しい時間です♪



足羽第一中学校 公式 Instagram



学校の様子を紹介しています。

ぜひご覧ください。

[「Asuwa-1 Official Instagram」](#)

■ ご意見・ご感想をお待ちしています。

右 QR コード（アドレス）から、  
ご記入いただけすると幸いです。  
<https://forms.office.com/r/fG1HabjJDE>

